

# 経営情報 2023.1月

## Monthly Report

よい朝のために。

**KYORITSU**  
HOTELS & DORMITORIES

(東証プライム コード 9616)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「経営情報 Monthly Report」は、株主様をはじめとするステークホルダーの皆さまに、より弊社をご理解いただくとともに、皆さまのご意見を経営に反映させていただくことを目的として、発信させていただいております。

共立メンテナンスグループ

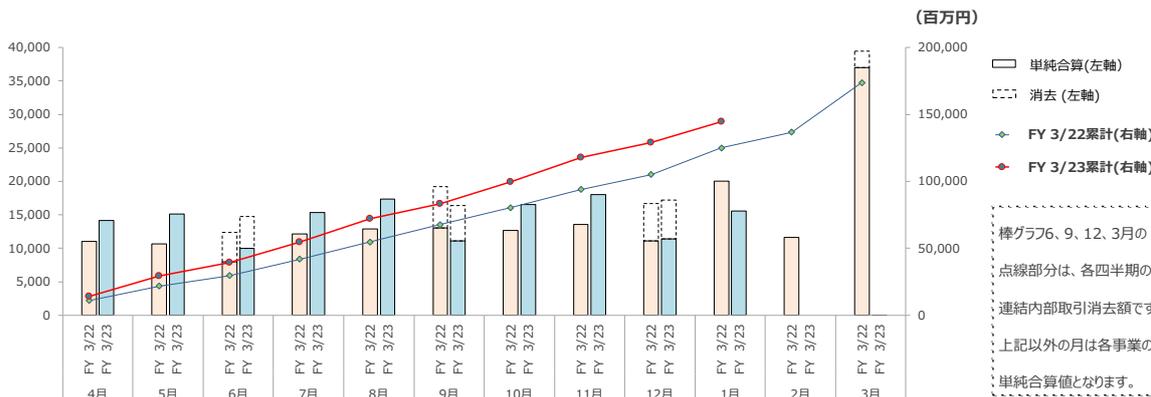
### セグメント別(事業別) 売上状況

1月の状況につきましては、寮事業において、期初からの日本人学生稼働室数の大幅な増加に加え、入国規制の緩和などによる留学生の増加もあり、単月売上高は前期から10%の増収となりました。また、ホテル事業につきましても、ビジネス需要および国内レジャー需要の回復に加え、全国旅行支援の再開や訪日外国人数の増加などによる追い風もあり、ドリーミン・リゾート共に高稼働・高単価で推移し、単月売上高は前期から49%の増収となりました。なお、デベロップメント事業の減収につきましては、前年同月に新規開発したビジネスホテル（1事業所）の不動産流動化（売上80億円）を実施した反動減が主要因となります。

この結果、1月のグループ売上高は155億円となり、前期から22%の減収、1月までの累計では前期から14%の増収となりました。なお、特殊要因であった不動産流動化を除いた場合、単月では前期から30%の増収、累計では前期から25%の増収となりました。

単位：百万円（百万円未満切り捨て表示）

	前年同期実績	2023年1月実績（単月）		前年同期実績	2023年1月実績（累計）	
			対前期			対前期
寮事業	3,525	<b>3,884</b>	+358 +10%	37,573	<b>40,617</b>	+3,043 +8%
学生寮	1,811	<b>2,114</b>	+302 +17%	19,075	<b>21,918</b>	+2,843 +15%
社員寮	931	<b>937</b>	+6 +1%	10,349	<b>10,389</b>	+39 +0%
ドミール	456	<b>487</b>	+31 +7%	4,597	<b>4,808</b>	+211 +5%
受託寮	326	<b>345</b>	+18 +6%	3,551	<b>3,500</b>	-51 -1%
ホテル事業	5,526	<b>8,220</b>	+2,693 +49%	52,000	<b>83,197</b>	+31,197 +60%
ドリーミン事業	3,039	<b>4,497</b>	+1,458 +48%	28,556	<b>47,347</b>	+18,791 +66%
リゾート事業	2,445	<b>3,664</b>	+1,218 +50%	23,134	<b>35,365</b>	+12,230 +53%
その他	42	<b>58</b>	+16 +39%	309	<b>484</b>	+175 +57%
総合ビルマネジメント事業	1,077	<b>1,258</b>	+181 +17%	11,562	<b>13,685</b>	+2,123 +18%
フーズ事業	592	<b>820</b>	+228 +39%	5,757	<b>7,817</b>	+2,060 +36%
デベロップメント事業	8,050	<b>74</b>	-7,976 -99%	22,315	<b>2,866</b>	-19,449 -87%
不動産流動化事業	8,000	-	-8,000 -	13,117	-	-13,117 -
その他	50	<b>74</b>	+23 +46%	9,197	<b>2,866</b>	-6,331 -69%
その他事業	1,227	<b>1,290</b>	+62 +5%	12,094	<b>12,380</b>	+286 +2%
PKP事業	692	<b>703</b>	+10 +2%	7,044	<b>6,996</b>	-47 -1%
シニアライフ事業	123	<b>158</b>	+34 +28%	1,273	<b>1,473</b>	+200 +16%
その他	412	<b>428</b>	+16 +4%	3,776	<b>3,910</b>	+134 +4%
合計	20,001	<b>15,548</b>	-4,452 -22%	141,303	<b>160,564</b>	+19,261 +14%



(注1) ここに表記している当期の計数情報は、監査法人による会計監査受検前のグループ各社の売上高（速報ベース）を単純合計したものであり、連結内部取引消去前ベースです。従って、後日確定する財務数値と差異が生じる可能性があります。

(注2) 上記グラフは、四半期末以外の月の単月売上高は注1に記載の売上高ベースで、各四半期末月の単月売上高は当該四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。なお、累計売上高（折れ線グラフ）につきましては、経過した各四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。